

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

旧年中は大変お世話になりました。
本年も倍旧のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年 三愛石油株式会社 執行役員ガス事業部長 大久保宏次

全L協・秋元会長、「2021年重点施策」を表明 LPガスの地位向上に注力、全L協の構造改革も

（一社）全国LPガス協会の秋元耕一郎会長は、2021年「年頭所感」で、「この3年間、防災・減災対策、国土強靱化、それらにともなうGHP需要の拡大に取り組み、国民の生活を守る最後の砦たるLPガスの地位の向上に努めてきました」としたうえで、脱炭素化や国民の新しい生活様式など国内動向を注視しつつ、本年も「保安の確保、需要の拡大、取引の適正化、LPガス自動車の普及促進、そして全L協自体の構造改革を推進。同時に、自然災害への対応も徹底してまいります」と表明しました。

■重点施策（主な取り組み）

●保安の確保 「重大事故ゼロ、CO事故ゼロ」を掲げ3年計画で推進中。4月以降は重点事項に軒先容器の流失防止対策、IoT活用スマート保安の推進などを追加し活動を拡充強化する。

●需要の拡大 業界一丸で「需要開発推進運動」を展開中。高効率機器の販売を強化するとともに、GHP空調の普及、公的避難所など防災拠点へのLPガスの常設・常用を推進する。

●取引の適正化 LPガスをお客様に積極的に選んでいただけるよう、「料金の算定方法」「算定の基礎となる内容」の説明を徹底していく。

●LPガス自動車の普及促進 昨年スタートした自立型LPガススタンド認定制度の充実、国土強靱化計画に対応したLPガス自動車の普及、そのための行政機関などへの保有車両一定割合の導入促進、主要ユーザーであるLPガスタクシーの減少防止を働きかけていく。

●全L協の構造改革 2019年に策定した販売業界ビジョンを具現する「新アクションプラン」を実行し、構造改革に着手した。将来の販売業の発展に資する組織となるよう引き続き推進する。

液石小委、「安全高度化計画2030」（案）提示

経済産業省（ガス安全室）は、2020年12月11日に開かれた産業構造審議会の第13回液化石油ガス小委員会で、次期保安対策指針となる「液化石油ガス安全高度化計画2030」（本文案）を提示しました。2021年3月開催の次回会合で決定し、2021年度から実施されます。

この日の液石小委ではほか、液石法事務・権限の指定都市への移譲、郡山事故、新型コロナ禍対応、自然災害対策が審議されました。

■安全高度化計画2030（案）

●事業者と保安機関の2者に国が保安活動を要請するこれまでのものから、都市ガスと同様に、国、事業者、需要家、関係事業者による協働体制で取り組む10カ年計画（2021～2030年）に変更。

●新たに掲げる高度化指標は、全体指標「死亡事故1件未満、事故件数25件未満」のほか、販売形態、起因者、場所別にも設定。死亡事故など重大事故の撲滅とともに、物損事故等も着実に低減するため、各対策項目をアクションプランとして策定する。

●具体的な対策には、これまでの消費者起因事故、事業者起因事故、自然災害への各対策に加え、「保安基盤」として①保安管理体制（経

営者の自己評価、事業者義務の再確認、長期人材育成を踏まえた保安教育の確実実施）と、②スマート保安の推進（スマートメーター・集中監視による保安高度化）を盛り込む。

■郡山事故（2020年7月30日発生、業務用、20名死傷）

●「厨房シンク下、コンクリート上に直に設置され腐食した白管（SGP配管）からガスが漏えい。何らかの着火源により着火して爆発したと推定される」（経産省）と報告。

●2020年12月7日、同8月に続き、再度注意喚起を全L協に要請。

■自然災害対策（容器流出防止）。

●共通基礎的対策（法令に反映、対象：洪水浸水想定区域等）

・上半部、下半部に鎖またはベルトにより緩みなく容器を固定する。

・ガス放出防止型高圧ホースを使用する。（更新時）

・外壁金具は容器が浮上しても鎖・ベルトが外れにくいものを使用。

◆その他多様な対策例（災害マニュアルに反映）

・独立支柱（埋設式、アンカー式）により容器を固定する。

・壁に専用固定金具を取りつけて、容器を固定する。

・容器収納庫に格納する。

・プロテクター、またはスカート穴に鎖またはベルトを通して固定。

・プロテクターを付ける。（バルブ損傷対策）

資源・燃料分科会、日協「グリーンLPガス」紹介

総合資源エネルギー調査会の第30回資源・燃料分科会が2020年12月2日に開かれ、“2050年カーボンニュートラル”に向けた資源・燃料政策の方向性が審議されました。この中で、日本LPガス協会が進める「グリーンLPガス」への取り組みも紹介されました。

●水素と炭素の人工合成によるプロパンの合成（プロパネーション）や、欧州で取り組みが進むバイオLPガスをはじめとする新たなイノベーションの検討が始まった。

●プロパネーションは合成に必要な触媒が開発されていない。またバイオLPガスは原料の調達や生産性の向上などが課題である。

消団連、エネ庁に無償配管対策要請書を提出

（一社）全国消費者団体連絡会は2020年11月19日、資源エネルギー庁（石油流通課）に「無償配管・無償貸与等による料金の不透明に対し抜本的対策を求める要請書」を提出しました。要請事項は①無償配管・無償貸与の商慣行の是正、②LPガス料金の明細の明示、③すべての事業者の標準的メニューの公表、の3項目です。

1月プロパン、CP550.00ドル、MB335.21ドル

1月積み込みC P（サウジアラビア輸入FOB価格）は、プロパン（P）はトンあたり550.00ドル、ブタン（B）は530.00ドルにすると輸入元売各社に通知がありました。前月に比べPは+22.22%、+100.00ドル、Bは+15.22%、+70.00ドルの上昇。一方、米・モントルビュー（MB）の1月適用プロパン価格（OPIS社発表）は335.21ドルで、前月に比べ+17.58%、+50.12ドル上昇しました。

2021年特約店会議はオンラインで開催いたします

2021年1月18日に開催予定の三愛石油グループ「2021年特約店会議」は、新型コロナ感染防止の観点から、オンラインでの開催とさせていただきます。視聴のお申し込みは、QRコード先のフォームにご入力の上お申し込み、またはオブリ営業担当者へご連絡ください。



配信ご希望の特約店様はメールアドレスを下記URLよりご登録ください。

※すでにご登録いただいている特約店様は不要です。

※ご不明な点は、オブリ担当セールスにご連絡ください。

【登録フォーム】<https://obbli.info/obbli/>

※パソコン、スマートフォンからご登録ください。



Obbli